

NO. 14

野鳥観察

1 ねらい

- ・ 年間を通じ、またはその季節だけに観察出来る野鳥の姿や動きと鳴き声を観察し、生態の違い等を知ることにより、野鳥への興味と関心と楽しみを深めさせる。
- ・ 自分たちの住んでいる町と泉ヶ岳の自然環境の中で生息する野鳥の違いについて理解させる。

2 活動の計画

- (1) 活動期間 通年
- (2) 所要時間 1時間～
- (3) グループ編成 1グループ5名程度
- (4) 活動場所
古民家周辺～ふれあい館周辺 (実態に応じて設定可)
- (5) 準備物

自然ふれあい館	利用団体
ポケット図鑑 (日本野鳥の会編)	特に準備物がなくても活動可 メモシート等を用意してもよい。

3 活動上の留意点

- ・ 事前踏査を行い、活動場所の確認をしておきます。
- ・ 危険な場所、有毒動植物などについて確認をしておきます。
- ・ 観察中は、極力静かに行動し、野鳥を脅かしたりしないようにします。
- ・ 季節や時間帯により、観察できる鳥が違うので事前に調べる必要があります。

4 展開例

区分	内容	備考
説明	1 活動のねらい 2 服装と準備物確認 3 諸注意, コース確認	・ 安全対策の確認
活動	1 コースをゆっくり散策しながら野鳥観察をします。 2 姿や動きと鳴き声などをたよりに観察します。 3 見つけた野鳥を図鑑で確認します。	・ 観察マナーの学習
まとめ	1 グループ毎に見つけた野鳥について名前や感想等を発表します。 2 資料を持ち帰り、活動を継続します。	・ 事後のまとめ学習などに使用する場合、調べた資料等を持ち帰るとよいです。

5 その他

観察は、継続して行うことにより多くの種類の野鳥を見る機会が増えます。自然ふれあい館での観察をきっかけにし、自分の家や学校のまわりなどで観察を行うことで興味が高まり自然環境の保護などに関心が広がります。

また、バードコール・えさ台・クラフト・巣箱の製作と設置など、発展的な活動も期待できます。

ふれあい館や古民家周辺で観察出来る野鳥(通年)

<p>シジュウカラ</p>  <p>木の実・小さな虫</p>	<p>エナガ</p>  <p>木の実・小さな虫・花の蜜</p>	<p>ヤマガラ</p>  <p>木の実・小さな虫</p>
<p>コゲラ</p>  <p>木の中の虫</p>	<p>メジロ</p>  <p>木の実・小さな虫・花の蜜</p>	<p>ゴジュウカラ</p>  <p>小さな虫・草木の実</p>
<p>アカゲラ</p>  <p>木の中の虫</p>	<p>アオゲラ</p>  <p>木の中の虫</p>	<p>カケス</p>  <p>木の実・小さな虫</p>
<p>ホオジロ</p>  <p>小さな虫・草木の種</p>	<p>モズ</p>  <p>小さな虫</p>	<p>ヒヨドリ</p>  <p>木の実</p>